

災害対策特別委員会

委員一覧 (20名)

| | | | |
|-----|-------------|-------------|-----------------|
| 委員長 | 秋野 公造 (公明) | 柘植 芳文 (自民) | 大野 元裕 (民主) |
| 理事 | 古賀 友一郎 (自民) | 長峯 誠 (自民) | 那谷屋 正義 (民主) |
| 理事 | 松下 新平 (自民) | 羽生田 俊 (自民) | 水岡 俊一 (民主) |
| 理事 | 野田 国義 (民主) | 馬場 成志 (自民) | 東 徹 (維新) |
| 理事 | 山本 博司 (公明) | 舞立 昇治 (自民) | 仁比 聡平 (共産) |
| | 磯崎 仁彦 (自民) | 吉川 ゆうみ (自民) | 和田 政宗 (次代) |
| | 高野 光二郎 (自民) | 大島 九州男 (民主) | (26. 12. 24 現在) |

(1) 審議概観

第188回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

第187回国会閉会後の11月28日、長野県北部を震源とする地震の被害状況及びその対応について、山谷内閣府特命担当大臣（防災担当大臣）から報告を聴取した。また、質疑を行い、長野県北部を震源とする地震についての激甚災害の早期指定、宿泊施設の活用等による被災者の居住の

確保、スキー場等への風評被害防止のための取組、災害救助法が適用されていない被災地域における救助の在り方、道路・水道等の早期復旧の必要性、活断層に係る調査・観測体制の強化、被災者生活再建支援法の適用対象を見直す必要性、災害に備えて共助を浸透させることの重要性、豪雪・過疎・観光依存等の被災地の特性に応じた支援の必要性などの諸問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成26年11月28日(金) (第187回国会閉会後 第1回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 長野県北部を震源とする地震の被害状況及びその対応に関する件について山谷内閣府特命担当大臣から報告を聴いた。
- 激甚災害の指定基準の見直し及び早期指定に関する件、宿泊施設の活用等による被災者の居住確保に関する件、道路、水道等の早期復旧に関する件、スキー場等への風評被害対策に関する件、活断層の調査・観測体制の強化に関する件、災害救助法及び被災者生活再建支援法の適用に関する件等について山谷内閣府特命担当大臣、世耕内閣官房副長官、藤井文部科学副大臣、高階厚生労働大臣政務官、

石川防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

小坂憲次君 (自民)、若林健太君 (自民)、大野元裕君 (民主)、山本博司君 (公明)、薬師寺みちよ君 (みん)、東徹君 (維新)、井上哲士君 (共産)

○平成26年12月24日(水) (第1回)

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成26年12月26日(金) (第2回)

- 災害対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。